原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】 <mark>※非特定事業者用</mark>							
<u>愛西土地改良区</u> 銘柄コード 銘柄コード							
					法人番号	3700150031639	
日本標準産業分類	コード	項	頁目名	エネルギー総使用量	<b>15,785</b> GJ	<b>407</b> kl	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】
中分類	01	ı	農業	前年度エネルギー総使用量		<b>402</b> kl	
細分類 (申請事業)	0131	穀物サービス業		非化石エネルギー総使用量	GJ	kl	
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】			調整後温室効果ガス排出量		t-CO <sub>2</sub>	
【エネルギーの使用の合理化】				ー 「調整後温室効果ガス排b	出量の算定に用いた認	征排出削減量等の量】	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】
主たる事業における		原単位分母		種別	合	計量	1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
エネルギー消費原単位 <sup>※注</sup> (2024年度実績)	主たる事業の構成割割	<b>業</b>	Ć	6		t-CO2	本事業は、農業用水供給事業であり、エネルギー使用量は天候により大きく左右され、供給点の要求量により原単位が変動する。 このため、適正な送水圧力の設定が重要であることから日々これに留意し事業運営を行っている。
事業者全体の	2020 20	D21 2022 E度 年度	2023 2024 年度 年度	-	-	t-CO2	また、主要機器の単位負荷容量が大きいことから機器整備・更新のタイミングで性能向上するような整備や高効率機器の導入を検   討する。
エネルギー消費原単位 対前年度比	7/2	-12 +12	+12 +12	-	_	t-CO2	하 9 <b>句</b> o
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)				-	-	t-CO2	
※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産 業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。  2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項							
【電気の需要の最適化】	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			【非化石エネルギーへの	<b>妘換</b> 】		2. 非にイエイルヤーへの転換に関する事項 非化石比率の高い電気へ契約変更および、太陽光発電で発電した電気を自己消費できないか検討中。
主たる事業における 電気需要最適化評価原単位		原単位分母		電気の非化石比率	事業者全体で	で使用する電気	
(2024年度実績) DR実施日数				目標(2030年度)		4.6%	
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位		021 2022	2023 2024 年度 年度		2020 2021 20 年度 年度 年	022	
対前年度比  事業者全体の				目安設定業種			
5年度間平均原単位変化							【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】
【ベンチマーク指標の状況(合	理化)】			■ 目安(2030年度)			1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
ベンチマーク区分							
目指すべき水準			kl/t以下	目標(2030年度)			
ベンチマーク指標の状況				口派(2000平)及/	2020 2021 20	022 2023 2024	
ベンチマーク区分				直近5年度間の実績値	年度 年度 年	F度 年度 年度	
目指すべき水準			kl/t以下	目安設定業種		_	2. 関連リンク
ベンチマーク指標の状況				口又似是未往			: :
ベンチマーク区分	-		_	目安(2030年度)		-	
目指すべき水準		-		日文(2000年度)			
ベンチマーク指標の状況		-		目標(2030年度)		_	
ベンチマーク区分	_		-	口标(2000年度)	2020 2021 2	022 2023 2024	
目指すべき水準		_		直近5年度間の実績値	年度 年度 年	F度 年度 年度 -	(注意事項) ・赤枠囲み欄は必須記載です。
ベンチマーク指標の状況	-						・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、 情報の公表を継続する必要があります。
							1